

岩高短歌  
『ワタシタチノウタ』  
月間優秀賞作品 R5③

発行者  
岩出山高校  
国語科

〔六月〕 黒色・花・雨

月間賞

舞納め水辺に浮かぶ花筏散れど華麗な生き様たるや

第二席

紫陽花に夜明け近づく静けさの朝露溜まり宝石の群れ

第三席

水たまり写りし空の青さにも夏のちかづく気配覚える

雨続き家の中には生乾き虚しく廻る扇風機かな

帰り道不意に変わった空の顔「ああ、夕立か」とカエルもぴよこり

下校中紫陽花の上にカタツムリ私もそこに乗ってみたい

優良賞

短夜の眠りにつけない自室にてクマの人形目が合った

家族皆黒色づくめ三回忌祖母の供養にピンクのお花

雨降れば色とりどりに開く傘ひそかに広がる虹色の街

梅雨空の雲の隙間に光さす手をかざしても目には眩しい

咲き誇る花のようには行かずともくじけず負けず我が道進む

光受け梅雨を頂き開くユリその姿で空へ恩返し

ぽつぽつと降り出す雨に傘を差すどんより空に彩りを

雨の中足を止めるの花の前紫陽花の色雨で輝く